

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	大学・大学院における専門医療人材養成機能強化事業		担当部局庁	高等教育局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成23年度 事業終了(予定)：未定		担当課室	医学教育課	医学教育課長 村田 善則			
会計区分	一般会計		政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	がん対策基本法第14条		関係する計画、 通知等	がん対策推進基本計画(平成24年6月閣議決定) 新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民が安心・安全な医療を享受できる環境を確保し、医療の高度化等に対応していくため、我が国全体を通じた高度な医療人材の養成を目指す。 具体的には、がん医療に携わる専門的な知識・技能を有する医師及びその他医療従事者、医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医、医療の効果的、効率的な提供を目的とするチーム医療の推進に資する人材等を養成する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(平成24年度開始) 複数の大学がそれぞれの個性や特色、得意分野を活かしながら相互に連携・補完して教育を活性化し、がん専門医療人材養成のための拠点を構築する大学の優れた取組を支援する。(補助率:定額補助) ②基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成(平成24年度開始) 基礎医学研究医や高い臨床能力を身に付けた優れた医師を養成する大学の優れた取組を支援する。(補助率:定額補助) ③専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業(平成23年度開始) チーム医療の推進に資する高度な看護師・薬剤師等の養成を行う大学の取り組みを支援する。(補助率:定額補助)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	0	0	0		
		繰越し等	—	0	0	0		
		計	—	2,015	2,527	4,757	4,957	
	執行額	—	2,011	2,525				
	執行率(%)	—	99.8%	99.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)
	がん専門医療人の養成人数 (がんプロフェッショナル養成基盤推進プランコース受入人数)		成果実績	人			345 (※H24.7.1時点・ 年度全体は調査中)	354
			達成度	%			97%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	がんにて化した臓器横断的な講座数		活動実績 (当初見込み)	講座		44 (-)	51 (51)	(58)
単位当たりコスト	21.0(百万円/大学)		算出根拠	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 1大学当たりのコスト =平成24年度執行額(2,100百万円)/連携大学数(100大学) (執行額=補助金額)				
平成25・26年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	研究拠点形成費等補助金	4,350百万円	4,600百万円	※事業番号0134と統合・再編し、事業の再構築を行う。				
	大学改革推進等補助金	402百万円	353百万円					
	研究拠点形成費等補助金事務費	4百万円	4百万円					
	大学改革推進等補助金事務費	1百万円	0.2百万円					
	計	4,757百万円	4,957百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・がんは、わが国の死因第1位の疾患であり、国民の生命及び健康にとって重要な課題となっている現状から、広く国民のニーズがあり、優先度が高い。 ・「がん対策基本法」において、がん対策の策定・実施は国の責務と明記されている。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先は公募に基づき、第三者委員会で選定している。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・がんプロフェッショナル養成基盤推進プランについては、初年度にもかかわらず平成24年7月1日現在で300人を超える学生を受け入れており、実効性が高く着実に成果が現れている。 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・がんプロフェッショナル養成基盤推進プランは初年度にもかかわらず、平成24年7月1日現在で、300人を超える学生を受け入れており、平成25年度以降はさらに多くのコースが開設され、より多くの学生を受け入れる予定である。がん専門医療人の養成が着実に図られており、将来、国民に対する最適で安心・安全ながん医療の提供が期待される。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行うとともに、各大学の取組状況を調査し、その結果を基に、翌年度の補助金配分額の見直しも実施しており、各大学の適切な経費執行及びさらなる取組の充実が期待される。 					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点：本事業は、がん医療に関する幅広い知識や高度な技術を有する、放射線療法や化学療法等のがん医療を専門的に担う医師等を養成することを目的とした国公立大学に対する補助事業であり、事業成果等の観点から検証を行った。 2. 所見：本事業については、「がんプロフェッショナル養成プラン」において毎年度一定の人数の学生の受け入れを行う等の成果を挙げているが、平成23年度からは「専門的看護師・薬剤師等医療人養成事業」、平成24年度からは「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」が追加され、事業が拡大している傾向にあることから、事業内容を精査し事業の再構築を行うべきである。 					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、大学病院人材養成機能強化事業と統合・再編し、新たに大学における研究マインドを持った次世代医療人材の養成及び拠点の形成を促進する「先進的医療イノベーション人材養成事業」と、医療の高度化等に対応するための優れた専門医療人材の養成及び教育体制を充実する「大学・大学院及び附属病院における人材養成機能強化事業」との2事業への再構築を行う。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0171	平成23年	0146	平成24年	0156

文部科学省
2,525百万円

諸謝金 1.3百万円
委員等旅費 0.3百万円
庁費 0.006百万円 } を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。

※支出額については総事業費で記入している。

【公募・補助】

①がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
A.大学(全15大学)
2,221百万円

複数の大学がそれぞれの個性や特色、得意分野を活かしながら相互に連携・補完して教育を活性化し、がん専門医療人養成のための拠点を構築する。

【公募・補助】

②基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成事業
C.大学(全22大学※うち連携プログラム分2大学)
381百万円

基礎医学研究医や高い臨床能力を身に付けた優れた医師を養成する大学の優れた取組を支援する。

【公募・補助】

③専門的看護師・薬剤師等医療人養成事業
E.大学(全12大学)
63百万円

看護師・薬剤師等の役割拡大を担い、チーム医療の推進に資する人材を養成する。

【分担金】

B.連携大学(全85大学)
1,218百万円

申請担当大学と相互に連携・補完して優れたがん専門医療人を養成する。

【分担金】

D.連携大学(全9大学)
18百万円

申請担当大学(2大学)と連携して、グローバルな医学・歯学教育認証評価制度を検討する。

(筑波大学のケース)

A.筑波大学
186百万円

筑波大学では、7大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成する。

【分担金】

B.千葉大学 37百万円	群馬大学 37百万円	埼玉医科大学 12百万円	日本医科大学 10百万円	獨協医科大学 5百万円	茨城県立医療大学 3百万円	群馬県立県民健康科学大学 3百万円
-----------------	---------------	-----------------	-----------------	----------------	------------------	----------------------

筑波大学及び他連携大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.筑波大学			E.鹿児島大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	連携7大学への分担金	106	物品費	備品費、消耗品費	4
人件費・謝金	教員、事務補佐員雇用等経費、外部講師謝金	48	人件費・謝金・旅費・その他	TA雇用経費、外部講師謝金、会議費、外部講師旅費、事業公開webサイト作成費	2
その他	e-Learningプログラム改良・維持費、チラシ、ポスター印刷費等	31			
物品費・旅費	消耗品費、会議旅費、外部講師旅費	1			
計		186	計		6
B.千葉大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費・謝金	教員、事務補佐員雇用等経費、外部講師謝金	31			
物品費	実験等設備機器、実習用試薬等消耗品費	5			
旅費・その他	会議旅費、コピー機レンタル料、関連書類郵送費	1			
計		37	計		0
C.東京医科歯科大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	連携5大学への分担金	18			
物品費	パソコン、プリンタ等消耗品費	8			
旅費	外国旅費、講演者招聘旅費	5			
その他	印刷製本費、通信運搬費	3			
人件費・謝金	事務補佐員雇用等経費	2			
計		36	計		0
D.東京女子医科大学			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	外国人招聘旅費	4			
人件費・謝金、その他	国際外部評価評価者謝金、印刷製本費、会議費	3			
計		7	計		0

支出先上位10者リスト

A.がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	筑波大学	国際協力型がん臨床指導者養成拠点	186	—	—
2	岡山大学	中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム	165	—	—
3	順天堂大学	ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン	160	—	—
4	大阪大学	地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成	157	—	—
5	東北大学	東北がんプロフェッショナル養成推進プラン	155	—	—
6	慶應義塾大学	高度がん医療開発を先導する専門家の養成	155	—	—
7	九州大学	九州がんプロ養成基盤推進プラン	155	—	—
8	京都大学	次代を担うがん研究者・医療人養成プラン	151	—	—
9	名古屋大学	組織横断的がん診療を担う専門医療人の養成	148	—	—
10	東京医科歯科大学	次世代がん治療推進専門家養成プラン	147	—	—

B.連携大学

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	千葉大学	他連携大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成	37	—	—
2	群馬大学	他連携大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成	37	—	—
3	埼玉医科大学	他連携大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成	12	—	—
4	日本医科大学	他連携大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成	10	—	—
5	獨協医科大学	他連携大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成	5	—	—
6	茨城県立医療大学	他連携大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成	3	—	—
7	群馬県立県民健康科学大学	他連携大学と相互に連携・補完して、優れたがん専門医療人を養成	3	—	—

C.基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京医科歯科大学	国際基準に対応した医学教育認証制度の確立	36	—	—
2	愛媛大学	医学科大学院からの基礎研究医養成コース	27	—	—
3	順天堂大学	基礎研究医養成のための順天堂型教育改革	23	—	—
4	東京医科歯科大学	シームレスな次世代研究者養成プログラム	23	—	—
5	東北大学	世界で競い合うMD研究者育成プログラム	22	—	—
6	群馬大学	卒前・卒後一貫MD-PhDコース	21	—	—
7	神戸大学	基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成	20	—	—
8	山梨大学	リエゾンアカデミー研究医養成プログラム	20	—	—
9	熊本大学	柴三郎プログラム:熊本発 基礎研究医養成	20	—	—
10	札幌医科大学	死後画像診断力のある死因究明医養成プラン	20	—	—

D.連携大学

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京女子医科大学	東京医科歯科大学と連携して、国際水準に対応した医学教育認証制度の構築	7	—	—
2	東京慈恵会医科大学	東京医科歯科大学と連携して、国際水準に対応した医学教育認証制度の構築	6	—	—
3	新潟大学	東京医科歯科大学と連携して、国際水準に対応した医学教育認証制度の構築	2	—	—
4	千葉大学	東京医科歯科大学と連携して、国際水準に対応した医学教育認証制度の構築	1	—	—
5	東京大学	東京医科歯科大学と連携して、国際水準に対応した医学教育認証制度の構築	1	—	—

E.専門的看護師・薬剤師等医療人養成事業

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿児島大学	放射線看護専門的看護師養成教育課程事業	6	—	—
2	群馬大学	地域社会の要請に応えた高度専門看護師養成	5	—	—
3	兵庫県立大学	チーム医療を担う高度実践看護師の育成	5	—	—
4	高知県立大学	チームでLifeを紡ぐ高度実践看護師教育	5	—	—
5	沖縄県立看護大学	島しょにおける「包括的専門看護師」の養成	5	—	—
6	日本赤十字看護大学	各災害サイクルの高度実践看護職の育成	5	—	—
7	聖路加看護大学	チームビルディング力育成プログラム	5	—	—
8	広島大学	高度医療専門職チーム力・臨床指導力の育成	5	—	—
9	名古屋市立大学	チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成	5	—	—
10	慶應義塾大学	地域で活躍する高齢者支援指導薬剤師の養成	5	—	—